

想いの届く日

El día que me quieras

「一時間のクラシック」は、
休憩のない一時間完結のコンサートシリーズです。
クラシック音楽に詳しい方にもそうでない方にも
楽しんでいただけるひとときを目指し、
様々な共演者とともに大切に継続してきました。

第八回目はサクソフォンの世界です。
サンバやボサノヴァの陽気なリズム、
ワクワクが加速するエスプリ、
息もつかせぬ変拍子の緊迫から
切なく美しいバラードまで…
クラシック・サクソフォンの魅力を詰め込んだ
お洒落なプログラムでお送りします。

ゲストは、日本が誇るサクソフォン四重奏団
“トルヴェール・クワルテット”のメンバー、
神保佳祐氏。

誠実なお人柄そのままの心地よい音色と
のびやかな歌心、
そして抜群のアンサンブルセンスを
どうぞ間近でお楽しみください。

初夏の午後のひととき、
ルーテルホールでぜひ一緒に！



神保 佳祐
(アルト・サクソフォン)

Keisuke JIMBO
alto saxophone

群馬県出身。昭和音楽大学弦管打楽器演奏家コース卒業。卒業演奏会に出演。同大学音楽専攻科修了。
東京芸術劇場による演奏家育成プロジェクト「芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー」第一期生オーディションに合格、2014～16年まで在籍し研鑽を積む。
2017年より須川展也氏率いるサクソフォン四重奏団「トルヴェール・クワルテット」のテナーサクソフォン奏者を務めるほか、「ブリッツフィルハーモニックウインズ」「CIRCLE A SAX」「Saxaccord」「Saxophone Boys」「東京サクソフオンオーケストラ」各メンバーとして国内外で演奏活動を展開。
サクソフォン八重奏団「Saxaccord」によるCD『Russian master pieces』（ロシアの作曲家に焦点を当てたオーケストラ作品集）は、レコード芸術特選盤に選ばれている。
また、お友達プレーヤーとして「サキソフォックス」にも出演中。
2021年度バンドジャーナル誌（音楽之友社）のワンポイントレッスンを担当。
これまでにサクソフォンを大津立史、故新井靖志、有村純親、林田祐和の各氏に師事。
昭和音楽大学非常勤講師。



大家 純子
(ピアノ)

Junko OIE
Piano

静岡県出身。国立音楽大学ピアノ専攻卒業後、モーツァルテウム音楽院（ザルツブルグ）に学ぶ。これまでにソロ、室内楽、伴奏ピアニストとして多数のリサイタル、コンサートに出演。CD録音にも参加。
中でも長年傾倒してきた歌曲の分野では、関定子氏をはじめ多くの声楽家と共演、トマムサマーセミナー他マスタークラスでの公式ピアニストも務める。
2017年より、コンサートシリーズ「一時間のクラシック」を主催継続中。Vol.5 朗読劇「イノック・アーデン」（A.L. テニスン原作 / R. シェトラウス作曲）では、オリジナルの日本語訳台本も手がけた。
女声合唱団リラ、アンサンブル煌、各常任ピアニスト。岩内在住。

History

- vol.1 『五線にしたための感謝と敬愛～最後のソナタ』
共演 クラリネット 村井 祐児 (東京藝大名誉教授、元N響首席クラリネット奏者)
2017年7月 パームホール (蘭越)
- vol.2 『Romance ロマンズ』
共演 フルート 波戸崎 操
2018年8月 ザ・ルーテルホール (札幌)
- vol.3 『あこがれ』
共演 ヴァイオリン 榎山 久美
2019年8月 ザ・ルーテルホール (札幌)
- vol.4 『Prism プリズム』
共演 マリンバ 宮本 典子 (アンサンブル・ノマド 打楽器奏者)
2021年8月 きたこぶしホール (札幌)
10月 音楽工房ホール (浜松)
- vol.5 『イノック・アーデン～語り手とピアノのための』
共演 朗読 則竹 正人 (ババトン、札幌大谷大学客員教授)
2022年7月 ザ・ルーテルホール (札幌)
- vol.6 『ピアノ・トリオ～バリをうたう』
共演 ヴァイオリン 榎山 久美 チェロ 金子 鈴太郎
2023年9月 音楽工房ホール (浜松)
7月 ザ・ルーテルホール (札幌)
- vol.7 『春のよろこび～日本のうたを集めて』
共演 ソプラノ 関定子
2024年4月 ぶきのとうホール (札幌)